

平成 1 0 年度試験研究成果

区 分	普 及	題 名	短日処理による10月出しトルコギキョウの品質向上技術（追補） - 育苗期における短日処理効果 -		
〔要約〕 F ₁ 早生品種、F ₁ 中生品種では、4月中旬の播種で、育苗期の短日処理を省略して自然日長とし、定植後30日間の短日処理のみで、十分な開花抑制と品質向上効果が得られ、10月に良品を採花できる。					
キーワード	トルコギキョウ	育苗期	短日処理効果	園芸畑作部南部園芸研究室	

1. 背景とねらい

岩手県におけるトルコギキョウの生産は、無加温による8月～10月出荷の作型が主体である。しかし、この時期の出荷は、育苗期の高温によるロゼット株の発生や、定植後に高温時期を経過することによる、短茎開花・ボリューム不足が問題で、特に、10月出荷における良品生産が課題となっていた。

そこで、この時期の良品生産を図るため、目標開花期を10月に定めた無加温栽培での育苗期及び定植後の短日処理による品質向上効果について明かにし、平成9年度の試験研究成果として報告したが、育苗期の短日処理について、その有効性が不明であったことから、引き続き検討を加えた。

2. 技術の内容

(1) F₁早生品種、F₁中生品種では、4月中旬の播種で、育苗期の短日処理を省略して自然日長とし、定植後30日間の短日処理のみでも、育苗期の短日処理と定植後の短日処理を組み合わせるとほぼ同等の開花抑制及び品質向上効果が得られ、10月に良品を採花することができる。

3. 普及上の留意事項

- (1) 4月中旬の播種では、低温時に保温、加温を要する場面が生じ、温度確保を目的として遮光資材を被覆しても生育に支障がない。
- (2) 育苗中、高温時はハウス内の上部に遮光率40～45%程度の遮光資材を被覆し、高温を回避することで良苗生産ができる。
- (3) 定植後の短日処理は、午後5時から翌朝午前8時まで高遮熱・遮光資材で被覆し、日長9時間程度の短日条件で効果が認められる。
- (4) F₁早生品種については、定植後自然日長でも、育苗期の短日処理により、ある程度の開花抑制と切花長、茎径等の品質向上効果が得られる。

4. 技術の適応地帯 県下全域（県北沿岸地域を除く）

5. 当該事項に係る試験研究課題

- 〔花き3〕 - 1 - (1) - ウ 花き銘柄産地構築のための長期継続出荷技術の開発研究
(イ) - a トルコギキョウの秋冬出し高品質生産技術の確立

6. 参考文献・資料

- | | |
|---|------------------|
| (1) 「平成8、9年度 試験成績概要書（野菜・花き）」 | 岩手県農研センター南部園芸研究室 |
| (2) 平成9年度試験研究成果
「短日処理による10月出しトルコギキョウの品質向上技術」 | " " |
| (3) 「平成10年度 試験成績概要書（野菜・花き）」（未定稿） | " " |

7. 試験成績の概要 (具体的なデータ)

表1. 採花時期及び切り花品質 (F₁早生品種: あずまのほほえみ 1998年)

播種 時期	短日処理日数		採花盛期 (月日)	同左 比較	切花長 (cm)	茎長 (cm)	節数 (対)	調整重 (g)	茎径 (mm)	分枝数 (本)	有効花蕾 数(輪)
	育苗期	定植後									
4.16	0	0	9.23	-13	78.8	26.3	6.9	61.4	6.4	3.1	13.6
4.16	64	0	9.30	-6	91.0	34.4	7.7	65.5	6.9	3.1	13.1
4.16	0	30	10.06	0	90.0	38.2	9.6	73.5	7.1	3.5	14.7
4.16	後期34	30	10.08	+2	97.4	45.5	9.4	77.7	7.2	3.5	14.1
4.16	64	30	10.09	+3	95.4	44.2	9.2	74.9	7.0	3.4	12.7
5.01	64	0	10.09	+3	83.9	34.4	7.2	53.8	6.2	2.9	9.5

注) 採花盛期: 全株のうち50%の株が採花に達した時期 (各表同じ)

後期34: 4月16~5月15日まで自然日長、5月15日~6月19日までの34日間のみ短日 (各表同じ)

生育ステージでは、本葉1対葉が伸長・展葉期から短日処理を実施

定植日: 4月16日播種は6月19日定植、5月1日播種は7月1日定植 (各表同じ)

表2. 採花時期及び切り花品質 (F₁中生品種: あすかの粧 1998年)

播種 時期	短日処理日数		採花盛期 (月日)	同左 比較	切花長 (cm)	茎長 (cm)	節数 (対)	調整重 (g)	茎径 (mm)	分枝数 (本)	有効花蕾 数(輪)
	育苗期	定植後									
4.16	0	0	9.21	-21	82.2	41.9	9.3	51.3	6.3	2.9	10.7
4.16	64	0	9.22	-20	83.0	46.7	9.7	47.0	5.8	2.9	9.6
4.16	0	30	10.12	0	95.8	55.7	11.8	70.7	6.7	3.0	11.2
4.16	後期34	30	10.12	0	103.8	60.8	11.6	82.5	7.1	3.2	11.9
4.16	64	30	10.13	+1	97.8	58.6	11.8	75.3	7.0	3.2	10.4
5.01	64	0	10.13	+1	92.4	51.6	9.7	77.4	6.7	3.2	12.4

表3. 採花時期及び切り花品質 (F₁晩生品種: つくしの雪 1998年)

播種 時期	短日処理日数		採花盛期 (月日)	同左 比較	切花長 (cm)	茎長 (cm)	節数 (対)	調整重 (g)	茎径 (mm)	分枝数 (本)	有効花蕾 数(輪)
	育苗期	定植後									
4.16	0	0	10.14	-7	86.6	46.4	10.7	78.7	7.4	3.0	12.0
4.16	64	0	10.14	-7	91.5	52.3	11.4	74.5	7.2	3.0	11.7
4.16	0	30	10.21	0	88.7	54.0	13.2	90.3	7.8	3.7	12.2
4.16	後期34	30	10.21	0	92.8	55.2	12.5	85.4	7.8	3.3	10.8
4.16	64	30	10.21	0	94.6	56.3	12.5	90.2	7.5	3.1	10.0
5.01	64	0	10.26	+5	85.2	50.8	11.3	81.8	7.2	3.5	7.7